

御宿

No.498
2004.平成16年

11月



チヨ
超
ドキドキ体験
仕事って大変

仕事って 大変

チヨ一
超



御宿中学校2年生 井上靖子さん (高山田)

「どんな仕事をしているのか知りたくて」という気持ちから、社会体験学習の場を御宿町役場にした井上さん。現在バレーボール部にて活躍中で、大会に向けて日々練習を重ねているそうです。

写真を撮って文章を考え、レイアウトという一連の広報編集を2日間という短い期間でやり遂げた井上さん。これからもその積極的な姿勢で頑張ってください。

中学二年生による社会体験学習が、十一月十六・十七日の二日間、町内の各事業所の協力により行われました。そのなかで、御宿広報の編集を手掛けることになったのは、井上靖子さん。仲間の仕事ぶりを取材したいと、カメラ片手に町内を駆け回り、積極的に取材しました。

今回は、井上さんの視点から見た社会体験学習を紹介します。



養護老人ホームでの仲間の姿は、とてもしっかりしていました。おじいさん、おばあさんのお話の相手や入浴の手伝いなどをやりながら、笑顔を絶やさずに取り組んでいました。

久しぶりの御宿小学校に感激

御宿小学校では、小学生と一緒に、吉野君と長谷川君が外で遊んでいました。吉野君が、小学生相手に本気になっている様子も見えました。

「みんな最初から話しかけてくれてとても嬉れしかったです。逆にこっちがすごく緊張しました。」と、岡村さんが言っていました。

それぞれが二日間、自分たちが先生になるということに、最初はとまどっている様子でしたが、だんだん児童とも仲良くなれていました。

私は、御宿小学校の卒業生である吉野君と岡村さんが、久しぶりに先生に会って、いろいろと思い出話をしたり、児童と一緒になっ

て勉強している姿を見て、まるで小学校時代に戻っているように見えました。

甘い香りに誘われて…

パティスリー・ディアンヌに入った瞬間、とても甘い匂いにうっとりするようでした。

パンのいい匂いのするほうに歩いていくと、パティシエと石井さん、長谷川さんの姿が見えました。覗いてみると、真剣なまなざしで一生涯懸命仕事をしていました。こんなにいい匂いの中で仕事ができるなんて幸せだと思いました。

お客さんも、この匂いときれいなデコレーションを見てうれしそうな顔でケーキを買っていききました。石井さんと長谷川さんの顔も、とても嬉しそうでした。



社会体験学習を終えて

町内をまわって、御宿のいろんな顔が見れてとても良かったです。良い勉強になりました。これからはこの経験を活かしていきたいです。いろいろな経験をさせていただいた役場の皆さん、ありがとうございました。



図書室で一緒に楽しく勉強中

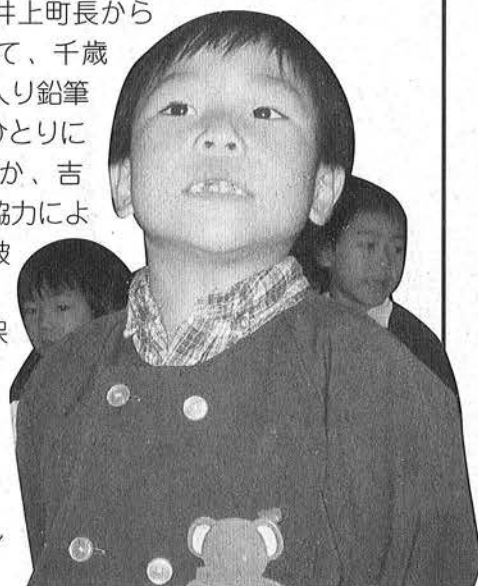
まちの 出来事

今月の花 「菊」

対象園児は62人 台同七つ子祝い

御宿保育所と岩和田保育所が合同で行う七つ子祝いが、11月11日に御宿町公民館で行われました。

当日は、井上町長からお祝いとして、千歳あめと名前入り鉛筆を園児1人ひとりに手渡したほか、吉田寛さんの協力により紙芝居が披露されました。園児も保護者や関係者に感謝の気持ちを込めた歌をプレゼントしました。



御宿コーラス愛好会



春潮会による舞踊「江戸の華」



さわやかクラブによる詩吟

発表、展示する喜び 文化祭を開催

御宿町文化祭が、11月2・3日に御宿町公民館を中心に行われました。

文化祭では、習字や絵画、写真、手芸といった様々な作品が展示されたほか、大正琴やダンス、講談、舞踊、合唱などの芸能発表も行われました。

各芸能発表が終了するたびに大きな拍手が送られ、それに笑顔で応える発表者。「来年の文化祭に向け、さらに精進したい」と、目を輝かせて話してくれました。



厚生労働大臣賞

御宿町食生活改善会

町長室にて

平成十六年十月十五日付けで、御宿町食生活改善会が厚生労働大臣賞を受賞しました。

今回の受賞は、三十二年の永きにわたり、学校や公民館、老人クラブなど、幅広い分野において食生活の改善を通じた活動を実施し、地域住民の健康保持・増進、また意識向上に大きく貢献したことに由来するものです。

農林水産大臣から感謝状

小松勝巳さん



伝達式の様子

平成十六年十月二十二日付けで、農林水産大臣から小松勝巳さん(岩和田)に、農林水産統計情報業務協力者として感謝状が送られました。

これは、昭和六十三年から十五年間にわたり、漁業経営に関する経費や漁獲量などを調査する漁業経営調査経営体としてご協力いただいたことによるものです。

町民カレッジ

第7回文化財めぐりを開催

お釈迦様の足跡と呼ばれている津慶寺佛足石



勝浦市内の指定文化財を見学する文化財めぐりが、11月6日(土)に実施され、23人が参加しました。津慶寺では、明治2年の難破による犠牲者130人を埋葬・供養した「官軍塚」を、覚翁寺では、勝浦領主植村泰忠の「根古屋市場開設に関する定書」と「植村家宝篋印塔」を、高照寺では、読経の姿をとっている「木造日蓮聖人坐像」などを見学することができました。参加者は、「どれも素晴らしい」と絶賛。「次も参加したい」と次回開催に胸を躍らせている様子でした。

241人が参加

楽しくいきいきスポーツ交流

町民の健康増進と交流を図る御宿町スポーツ大会が、11月3日に町内の各施設で行われました。

秋晴れのなか、各種目とも楽しいなかにも真剣勝負が繰り広げられました。結果は下記のとおりです。



バレーボール優勝チームの大和組

大会結果

ソフトボール大会

優勝 ドランカース小川
準優勝 浜同志会
第3位 久保四十雀

バレーボール大会

優勝 大和組
準優勝 埋田組
第3位 ふあいたあず
第3位 ピーチクラブ

弓道大会

一般の部 優勝 末森博文
準優勝 吉田洋子
第3位 成見律春

高校生の部 優勝 土井翔
準優勝 吉野郁弥
第3位 角田理沙

硬式テニス大会

シングルス 優勝 砂原久夫
準優勝 前田義明
第3位 君塚みどり

男子ダブルス

優勝 前田義明・根本貞之
準優勝 砂原久夫・織田康司
第3位 小川 清・君塚みどり

女子ダブルス

優勝 有路恵美子・小林里子
準優勝 池田洋子・川亦美和子
第3位 武宮みゆき・佐藤和子

(敬称略)

かつこ良く、きれいに

趣味ではじめた竹細工



「お達者 自慢」

第45回

吉野 数男さん (81歳)

大正11年12月29生まれ (上布施)

上布施の老人クラブでは、毎年、布施小学校と御宿町公民館でお飾り作りを教えているそうです。「伝統的な技術を少しでも伝えられたら」と、笑顔で話してくれました。

「趣

味でやりはじめた竹細工。暇なときに遊んでいます」と話してくれたのは、上布施にお住まいの吉野数男さん。

七十歳ぐらいいから竹細工をはじめたようになったという吉野さん。「習ったわけじゃないんです。たまたま古いかごをほごしてみたんですよ。どういう風になっているのか知りたくて...」。今では、裂いてある竹を用意していれば、一晩で一つの竹かごが作れるそうです。竹の幅と厚みが同じでない、かごの目が揃わないので、出来の良し悪しは準備段階で決まるとのこと。近所の皆さんには、「軽くて水切りがいい」と好評で、よく作ってほしいと頼まれるそうです。竹を切るのに最適な時期である十一月に入り、吉野さんの趣味は大忙しの様子。竹細工の魅力は、「かつこ良く、きれいに作ること」。吉野さんも満足する作品の完成は間もなくです。

「町の動き

〔10月〕

1日(金) 第2回臨時会

2日(土) 布施小学校運動会

3日(日) 秋季軟式野球大会

11日(月) 御宿中学校校舍改築
工事安全祈願祭

16日(土) 17日(日)
第19回全日本学生
ライフセービング大会

17日(日) 31日(日)
御宿まるごとミュー
ジウム

23日(土) 24日(日)
御宿月の沙漠ハイキ
ング

28日(木) 29日(金)
連合町民号

町の姿を再認識 抜本的な行財政改革



御宿町長 井上七郎

経済状況は、回復の兆しが見られているものの、依然として厳しい雇用情勢など景気の低迷は続いており、国などの財政状況についても厳しさを増しています。このような状況に加え、住民生活に密着した町行政の役割は、年々大きくなっています。

町づくり 提案 40

町では、昨年度から予算編成に、「一般財源の枠配分方式」や「事務事業評価」を取り入れるなど、限られた財源の中で行政サービスの質の向上と財政の健全化に努めてきました。

これから、各課の予算要求が提出され、本格的に平成十七年度予算の策定作業に入りますが、さらなる抜本的な改革を実施し、町の姿、置かれた現状を認識したうえで、皆さんの声を反映させ、住民と行政とが手を取り合いながら、三か年実施計画が目標とする「自然の恵みを継承し、心やすらぎ、未来へ躍動する夢多きまちづくり」を、着実に推進する予算にしたいと、決意を新たにしています。

ひとり暮らし高齢者や障害のある方が地域で安心して生活していくためには、災害などの緊急時に備え、日ごろから避難場所の確認や非常持出品を備えておくほか、地域ぐるみで安否の確認や避難誘導等の体制づくりを進めていくことが大切です。

町や町社会福祉協議会では、災害発生時の連絡体制や地域ぐるみでの救助、避難等の取り組みに向けて、防災登録制度や緊急通報装置の設置を実施しています。

① 防災登録

防災登録名簿を作成し、消防・警察・役場へ配布し、災害時に安否確認や避難誘導等の支援体制づくり。

○対象者

- ・ 65歳以上のひとり暮らし高齢者
- ・ 65歳以上のみの世帯
- ・ 要援護者（寝たきり者や介助の必要な身体障害者）のいる世帯

○申請手続き

- ・ 防災登録票に緊急連絡先等を記入のうえ、各地区担当民生委員に提出。

○問い合わせ 御宿町社会福祉協議会 ☎68-6725



② 緊急通報装置の設置

緊急時（災害や急病・火災など）に簡単な操作で広域消防署に通報できる緊急通報装置を無料で設置します。（通話料は自己負担）

○対象者

- ・ 65歳以上のひとり暮らし高齢者
- ・ 65歳以上で2人以下の世帯
- ・ 身体障害者手帳（1,2級）を所持するひとり暮らし身体障害者

○申請手続き

- ・ 申請書に近隣協力世帯員の同意及び担当民生委員の証明のうえ、役場保健福祉課に提出。

○問い合わせ 保健福祉課 ☎68-6716



保健福祉課
君塚真奈美

福祉ワンポイント

～ひとり暮らし高齢者や身体障害者の災害時対策について～

今月の表紙

中学校2年生による社会体験学習において、岩和田保育所には男子2人、女子6人が参加。

園児の中に入って一緒に遊んだり、着替えの手伝い、散歩に行ったりするなど、積極的に取り組みました。朝市への買い物にも随行。園児の手をしっかりと握り、交差点では車が来ていないかしっかりと確認し、さあ出発です。

多くの方とコミュニケーションを図るなかで、様々なことを体験でき、身にしみた貴重な2日間だったと思います。

仕事の内容ももちろんですが、挨拶や返事といった人とのコミュニケーションも大切です。

「お世話になります」、「お先に失礼します」、「ありがとうございました」など、様々な人との交流から、挨拶の大切さを感じ取ることができたと思います。

人の動き

8,242人 (-19) 男3,945人 女4,297人
世帯数3,296 (平成16年11月1日)

御宿分署の出動状況

火災件数0 (4) 救急件数34 (336) (平成16年10月中)
() 内は1月からの累計

交通事故発生状況

発生件数26 死者数0 負傷者数41
(平成16年1月1日~11月21日現在)

町民バス利用状況

乗客人数242 (1,952) (平成16年10月中)
() 内は1月からの累計

ダムの貯水状況

貯水率100% 有効貯水量579,000m³
(平成16年11月22日現在)

100% ※この広報紙は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

御宿俳壇

俳句愛好会

兼題
紅葉

紅葉してひとり将棋のちちの影
秋の日やカンパスを手にいそいそと
紅葉燃ゆ中に山門凜として
忘れたきこともありけり茗荷汁
雷鳥とほどほどの距離草もみじ
足許に落ちて木の実の音を知る
梵鐘にかつ散るさくら紅葉かな
新墓の石のつめたさ紅葉映ゆ

小野 玲子
大曾根利枝
岡山 守
河崎 康代
鶴岡 徳治
岡本 俊康
大谷 仲
嵯峨 通恵

リハビリの試歩の一步や草紅葉
石仏の土手の明るき草もみじ
曼珠沙華千人塚の灯りけり
雨音に小説聖書夜の長し
歌も出る伊那谷紅葉舟下り
清流に紅葉映してハイキング
会ひたさにひらくアルバム窓の月
台風の残せし木々の浦曲かな

岡田まさし
秋葉喜美江
岩崎 千恵
菊地 武夫
桜谷 敬蔵
福菌千鶴子
姫野 千晴
石田ゆき緒

評

第1句目は、ひとり将棋に打ち込む父の面影が、紅葉によってなんとなく寂しさを感じる作者の心情。第2句目、秋の日が誘う1日の行動が見える。第3句目は、紅葉によっての山門の厳があり。(石田)

編集後記

仕事でパソコンをやり始めて六年。メールでのやり取りが中心のなか、なんとか使うことができています。中学二年生にもなると、パソコン操作はお手のもの。抵抗感がなく、どんどん吸収していく感じですよ。
二〇〇四年もあと一か月。「退化しないで進化していく」気持ちを持って、前向きに取り組んでいきたいと思えます。(S)

**はじめまして、
「自動車リサイクル法」です**

平成17年1月から自動車リサイクル法がスタートします。自動車の所有者は、①リサイクル料金の支払い（平成17年1月以降の新車購入時。現在お持ちの車は、次回の車検時まで。車検を受けずに廃車する場合は廃車時に支払い。）、②廃車の際は、自治体に登録した取引業者に引き渡すこと、が義務付けられます。

リサイクル料金は、主に車のリサイクルの障害となっているシュレッダーダスト・フロン・エアバックのリサイクル、適正処理に使われます。



○問い合わせ 自動車リサイクルシステムコンタクトセンター
☎03-5673-7396

**少年が非行を繰り返さないように
「家庭裁判所の教育的な措置」**

非行のあった少年が再び非行に走ることをないようにするには、個々の少年の抱える問題に応じた適切な措置をとることが必要です。

家庭裁判所では、非行のあった少年に対し、保護観察や少年院送致などの保護処分の決定や刑事処分とするための検察官送致の決定をしていますが、保護処分等に至らない少年に対しても非行について反省させ、非行を繰り返さないように様々な方法で教育的な措置をとっています。

地下室を安全に使用するために

集中豪雨により地下室の水死事故が発生しています。地下室に流れ込んだ水は一瞬にして地下室を水没させます。

豪雨時の地下室には入らず、すぐ避難することが重要です。地下室の所有者、管理者は、日ごろから緊急時の避難方法などについて話し合っておくことが大切です。

○問い合わせ 千葉県庁指導防災室 ☎043-223-3183

国立歴史民俗博物館の催し

- 「伝統の古典菊」
- 期間 11月2日～28日
- 「冬の華・サザンカ」
- 期間 11月16日～12月26日
- くらしの植物苑特別企画**
- 「季節の伝統植物」
- 開苑時間 午前9時30分～午後4時30分
- 入苑料 小学生以上100円
- 「体験教室」
- 開催日 第4回平成17年1月22日「アブラ」のふしぎ、第5回平成17年3月26日「花」のふしぎ
- 対象 小学校高学年、中学生
- 時間 午前10時30分から正午
- 定員 20人（参加費は無料ですが、損害保険50円が必要です）
- 申込方法 「くらしの植物苑体験教室第○回申込み」と明記のうえ、氏名（ふりがな）、住所、電話番号、学校名、学年、今までの参加の有無、一緒に参加する家族の人数と氏名を書いて、郵送またはFAXでお送りください。
- 申込み・問い合わせ 国立歴史民俗博物館事業課
☎043-486-0123
FAX043-486-4482



パソコンボランティア講座

NTTコムウェアPCボランティアグループと労働者福祉協議会が、パソコンに触ったことのない初心者の方のための入門講習会を開催しています。

電源のON、OFF、日本語入力やインターネット、電子メールなどの基本を学べるコースとデジカメ写真を利用したコースの2コースを開催しています。受講料は無料。

- 日時 初級コースは12月4日、18日、デジカメコースは12月5日、19日。午前9時30分～午後5時まで（1日で終了する講座です）
- 場所 千葉県労働者福祉センター5階会議室
- 申込み・問い合わせ 千葉県労働者福祉協議会
☎043-241-6681

農林業のいまを知るための5年に一度の大切な調査です。実施は2月1日、忘れないうちに!!

2005年 農林業センサス

慶弔欄については、掲載を控えることができますので、ご希望の方は、届出のときに窓口で申し出てください。	上布施	七本	岩和田	岩和田	岩和田	六軒町	久保	久保	久保	久保	浜	10月届	新町	10月届	よろこび	
	鈴木	吉野	鈴木	天野	浅野	中村	松本	窪岡	高梨	江澤	片岡	男9	田中	女2		
	荘一	元芳	良一	綾子	市郎	群司	ほめ	真治	ぬき	稲男	や糸	女5	海音	美法		
	83	87	74	74	73	95	88	72	87	74	78	計14名	真二	友美		
																計2名



座右の銘

「プラス思考」

寺田 春水さん(御宿台)

ラビドール御宿に入居して二年が経過しましたが、毎日を楽しく過ごしています。

この年になっても、知らないことがたくさんありますので、その疑問を解決するため日々勉強し、そのなかで、「そうだったのか」と、答えを導き出した時の喜びを味わっています。

ているほか、多方面での講演会の開催など私の医学的な知識を、多くの方々に還元したいと活動しています。

また、好奇心を失わないよう努力するなど、心の持ち方を工夫すると、いつまでも若々しく過ごしていけると思います。

地球にやさしいクリーンなエネルギーとして期待されています。

新エネルギー財団では、

「住宅用太陽熱高度利用システム導入促進対策補助金補助事業」として、太陽熱高度利用システムの補助制度を実施しています。

住宅用太陽熱高度利用システム補助制度の応募受付中

■補助対象者

集熱器の総面積七十五㎡までのソーラーシステムを設置される方

■補助金額目安

六㎡で約十万円、七十五㎡で約二二五万円

※住宅以外の建物に設置する場合(ただし公共施設は除く)も対象となる場合がありますので、お問い合わせください。

■問い合わせ

(財)新エネルギー財団

03・5275・9566

<http://www.nef.or.jp>

住人 十色

Profile

- 1945 旧制一高理科乙類卒業
- 1949 東京大学医学部医学科卒業
- 1950 同大学医学部解剖学教室で解剖学を専攻し、父の診療所で外科診療の経験も積む
- 1956 医学博士
- 1957 東京大学助教授
- 1957~1959 米国出張、ニューヨーク州立大学フルブライト講師
- 1961~1963 米国再出張、ニューヨーク州立大学客員助教授
- 1971 北里大学教授
- 1991~ 北里大学名誉教授